



※掲載している数値および割合は端数調整を行っています。

令和5年度の一般会計決算は、歳入195億5,669万円、歳出187億7,682万円、差引7億7,987万円で、翌年度への繰越事業に伴う繰越財源5,996万円を差し引いた実質収支額は、7億1,991万円の黒字となりました。

一般会計決算

歳入

195億5,669万円

歳出

187億7,682万円

翌年度に
繰り越すべき財源

5,996万円

実質収支額

7億1,991万円

みなさんに納めていただいた税金は28億3,756万円で、市民税は減少しましたが、固定資産税や軽自動車税などは増加し、市税全体としては前年度と比較して623万円の増収となりました。また、国から交付される地方交付税は前年度より7,495万円増加し、市が自由に使えるお金が増えました。

令和5年度 会計別決算額

〔△はマイナスを表します。〕

会計名	歳入 A	歳出 B	差引 C (= A - B)	繰越額 D	実質収支額 E (= C - D)
一般会計	195億5,669万円	187億7,682万円	7億7,987万円	5,996万円	7億1,991万円
特別会計					
国民健康保険	31億3,979万円	30億9,197万円	4,782万円	0円	4,782万円
学校給食費	7,043万円	7,232万円	△189万円	0円	△189万円
国民宿舎葛城高原ロッジ	8,022万円	8,022万円	0円	0円	0円
介護保険事業	38億9,739万円	38億 588万円	9,151万円	0円	9,151万円
後期高齢者医療保険事業	5億4,064万円	5億3,993万円	71万円	0円	71万円

会計名	収入 A	支出 B	当年度純利益 C (= A - B)	前年度繰越利益剰余金 D	当年度末処分利益剰余金 E (= C + D)
水道事業会計 (収益的収支)	8億3,849万円	8億 658万円	3,191万円	3億6,507万円 ^(※)	3億9,698万円
下水道事業会計 (収益的収支)	5億2,648万円	5億2,203万円	445万円	2億1,247万円	2億1,692万円

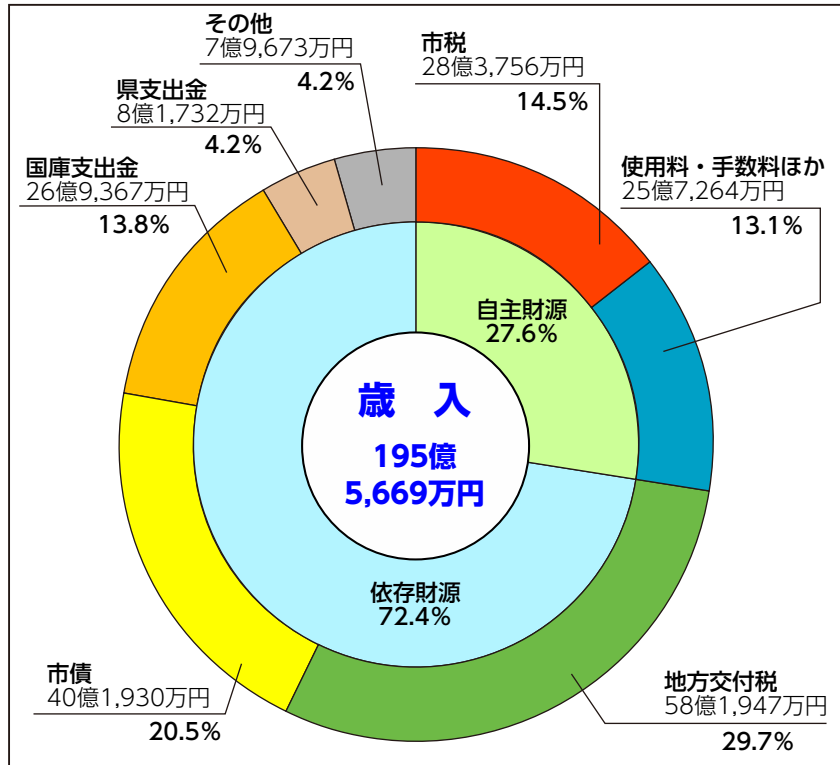
(※) 前年度繰越利益剰余金のほか、当年度に変動した額1,600万円も含まれます。

▶ 特別会計・企業会計について

特定の事業を行い、一般会計とは別に会計を行うのが**特別会計**です。**企業会計**とは経済活動を一定の方式によって行う会計で、御所市では水道事業会計および下水道事業会計がこれにあたります。

令和5年度「一般会計決算」の内訳

歳入総額 195億5,669万円



◎歳入

…市に入ったお金 (収入)

- 市税…市に納めていただいた税金
- 地方交付税…国が徴収した税金（所得税など）の中から市の財政状況に応じて交付されたお金
- 市債…大きな事業を行うときに、国、県および金融機関などから借り入れたお金
- 国庫支出金・県支出金…市が行った特定の事業に対して国や県から受けたお金

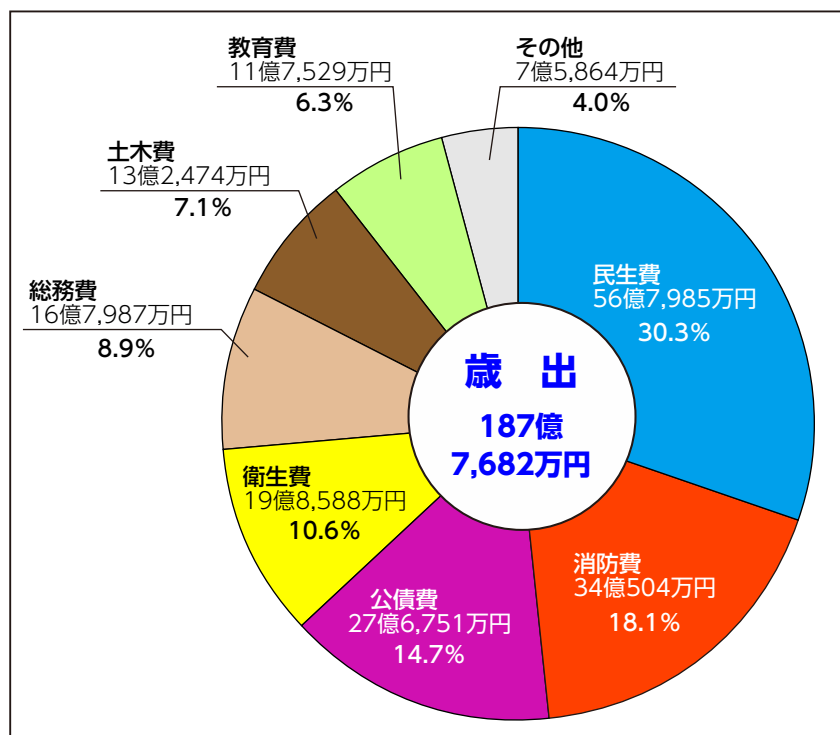
☆自主財源

…市が自主的に収入できたお金

☆依存財源

…国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられたお金

歳出総額 187億7,682万円



◎歳出

…市が使ったお金 (支出)

- 民生費…高齢者、障害者、児童などの医療・福祉などに使ったお金
- 消防費…消防・防災活動に使ったお金
- 公債費…市債（借金）を返済するために支払ったお金
- 衛生費…保健衛生、健康管理、ごみ処理などの環境衛生に使ったお金
- 総務費…市役所の管理運営、課税徴収、住民窓口、選挙、統計などの事務に使ったお金
- 土木費…道路、公園、市営住宅などの整備や事務に使ったお金
- 教育費…小・中学校、幼稚園、社会教育、文化施設などに使ったお金

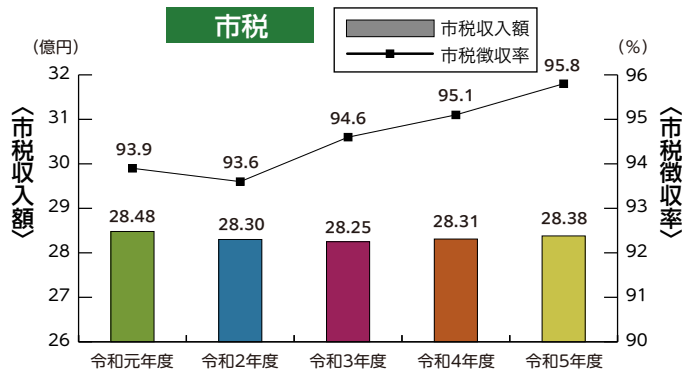
《一般会計》

市税・市債残高・基金残高から見る

財政状況

市税の状況

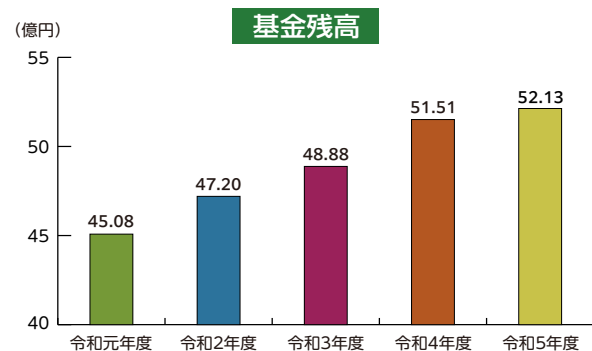
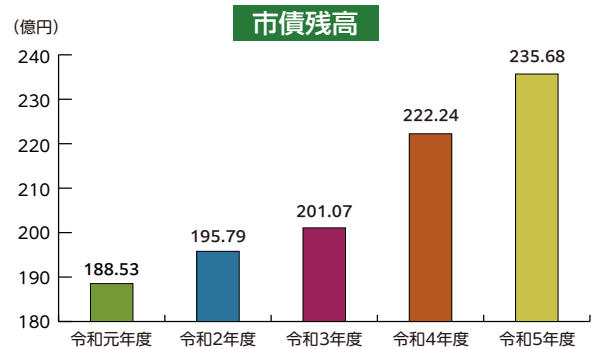
御所市の税には、市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税があります。令和5年度の収入額は、市民税は減少しましたが、固定資産税や軽自動車税などは増加しました。その結果、市税全体では、前年度と比較して623万円の増収となりました。



市債残高の状況

市債残高は、令和4年度から継続的に繰上償還を実施しているものの、過疎対策事業債等の有利な地方債を積極的に発行してきたため増加を続けています。

令和5年度も、繰上償還9億4,727万円を含め26億7,559万円を償還した一方で、防災交流館の建設などの大型事業を実施するため新たに40億1,930万円を発行したことで、償還額を発行額が上回り、前年度と比較して13億4,371万円の増加となりました。



基金残高の状況

市の貯金である基金は、令和5年度末残高は52億1,304万円となりました。

各種指標から見る 財政の健全度

令和5年度の一般会計の実質収支は黒字となりましたが、果たして健全な財政運営ができているのでしょうか？いろいろな指標を使って見てみましょう。

※「早期健全化基準」とは、いわゆるイエローカードのことで、この基準を超えると「財政健全化計画」を策定し、財政の健全化に取り組まなければなりません。

健全化判断比率	項目	内容	令和5年度(御所市)	早期健全化基準(※)
	実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	—	13.79%
	連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	—	18.79%
	実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	11.1%	25.0%
	将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	74.2%	350.0%

御所市の「健全化判断比率」は早期健全化基準以下となっています。

◎ 経常収支比率 98.8% ◎

経常収支比率とは、経常的な収入で経常的な支出をまかなえているかを判断するための指標です。この比率が100%を超えると臨時的収入(特別交付税等)を経常的な支出に充てたり、基金(貯金)の取り崩しが必要な状況となります。令和5年度決算の経常収支比率は98.8%で、前年度の99.2%から0.4ポイント改善したものの、地方交付税などの依存財源が歳入全体に占める割合は依然高くなっています。

令和5年度に実施した主な事業（一般会計）

◇防災交流館建設事業 28億7,380万円

市民の防災意識の高揚および防災活動の推進を図るとともに、市民のコミュニティ活動の促進を目的として、旧御所市民会館・中央公民館跡地に、地域の防災拠点となる防災交流館を建設しました。



◇ゴセンちゃん振興券事業 8,274万円

物価高騰等対策事業として、市民生活を応援するとともに、市内での消費促進による地域活性化のため、ゴセンちゃん振興券を発行しました。（決算額は3月換金分を除く。）

◇農業農村整備事業 2,707万円

防災・減災対策として、ため池保全管理や劣化状況調査、安全施設の整備工事などを行いました。

◇地域デジタル推進事業 461万円

イベントの予約や行政手続きをLINEで行うことができる環境を整備しました。



◇葛上中学校体育館大規模改造工事 1億586万円

葛上中学校体育館の大規模改造工事を行いました。

◇学校給食費無償化事業 4,086万円

物価高騰による子育て世帯の経済的負担を軽減するため、臨時交付金を活用し、小・中学校に通う児童・生徒にかかる1年間の学校給食費等を無償化しました。

◇副食費無償化事業 1,056万円

物価高騰による子育て世帯の経済的負担を軽減するため、臨時交付金を活用し、保育所・幼稚園等に通う市内在住の児童にかかる1年間の副食費を無償化しました。



◇出産・子育て応援交付金事業 1,253万円

妊娠期から子育て期における出産育児関連用品の購入費や、子育て支援サービスの利用料の負担軽減を図るため、応援交付金を支給しました。



◇総合防災マップ策定事業 396万円

浸水想定区域および土砂災害警戒区域の見直しに伴い、総合防災マップの更新を行いました。



◎ほかにも、さまざまな事業を実施しています。詳しくは市ホームページに掲載の「令和5年度決算 主要施策の成果報告書」をご覧ください。

令和5年度
一般会計決算額を
市民1人あたりで
見てみると…

令和5年度一般会計決算額を、住民基本台帳人口2万3,523人（令和6年3月31日現在）で割り、市民1人あたりの収入やかかった経費（支出）を算出しました。

収 入	83万1,386円	(内、市税収入額12万 629円)
支 出	79万8,232円	(内訳)
【経費】		
		民生費 24万1,459円
		消防費 14万4,754円
		公債費 11万7,651円
		衛生費 8万4,423円
		総務費 7万1,414円
		土木費 5万6,317円
		教育費 4万9,963円
		その他 3万2,251円

